

女性の防災リーダーが いたら

南アルプス市ハーモニープラン推進会議
地域社会部会

【ナレーション】

女性の防災リーダーがいたら。



【ナレーション】

ある日、ある自治会の公会堂で、防災訓練に向けての打合せ会が行われていました。

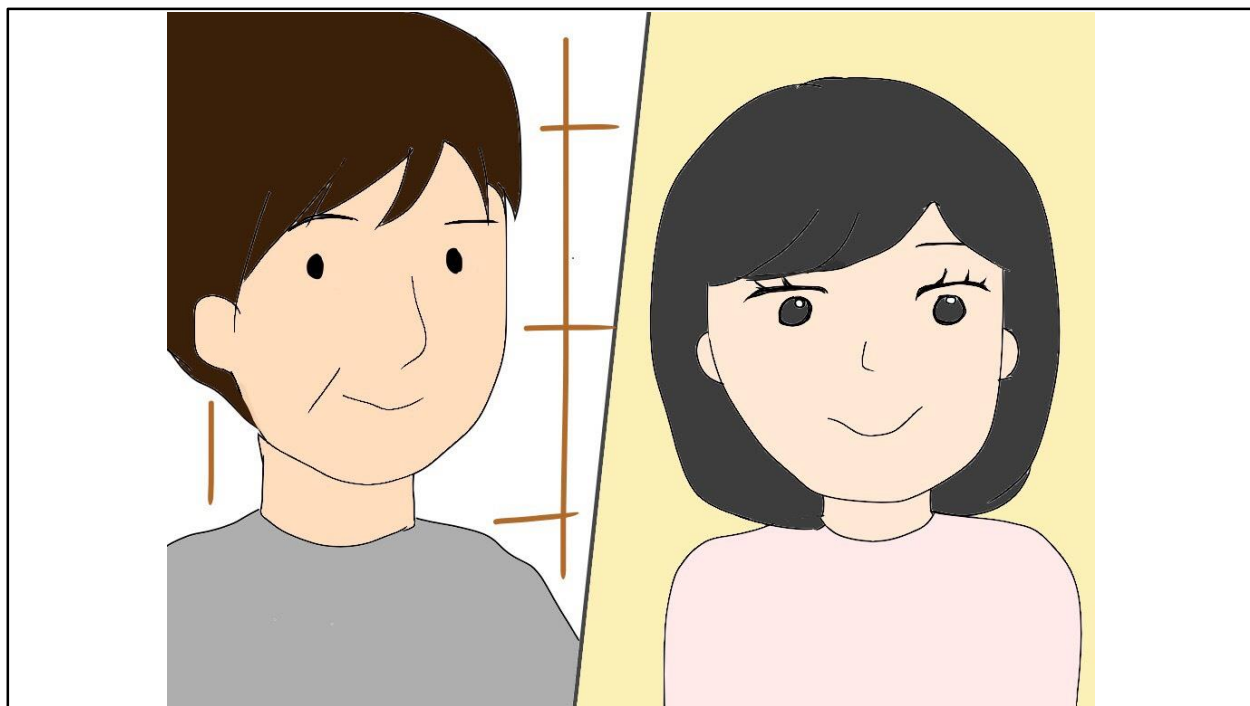
自治会長をはじめとして、副自治会長、会計、組長などの役員が集まっています。

【自治会長】

「では、サイレンがなったら、公会堂前に参集して、組長が自治会長に報告。その後、消防団による消火器の使い方の説明をしてもらいましょう。」

【副自治会長】

「そうですね。例年と同じではありますが、顔を合わせておくことが大事ですよ。他に代案がなければ、それでいきましょう。」



【自治会長】

「例年通りであれば、女性の方々には炊き出しをしてもらいます。朝早くから申し訳ないですが、よろしくお願いします。」

【女性A】

「はい、わかりました。」

【自治会長】

「では、本日の決定事項を回覧板でみなさんに連絡します。当日はよろしくお願いします。」



【ナレーション】そして、防災訓練の当日

【1組組長】

「1組全員集合、異常なし。」

【2組組長】

「2組は山田さんの旦那さんが、仕事で外出以外は、異常ありません。」

【ナレーション】

次々と組長が、自治会長に人員を報告していきます。次は消防団による消火器の説明です。

【消防団員】

「消火器は、燃えている火の根元を狙って、手前から消火します。」

【ナレーション】

男性も、女性も参加して消火器の使い方を学びました。

【女性B】

「これで地震のときに火事が起きても、消火器が使えるわ。」

【女性C】

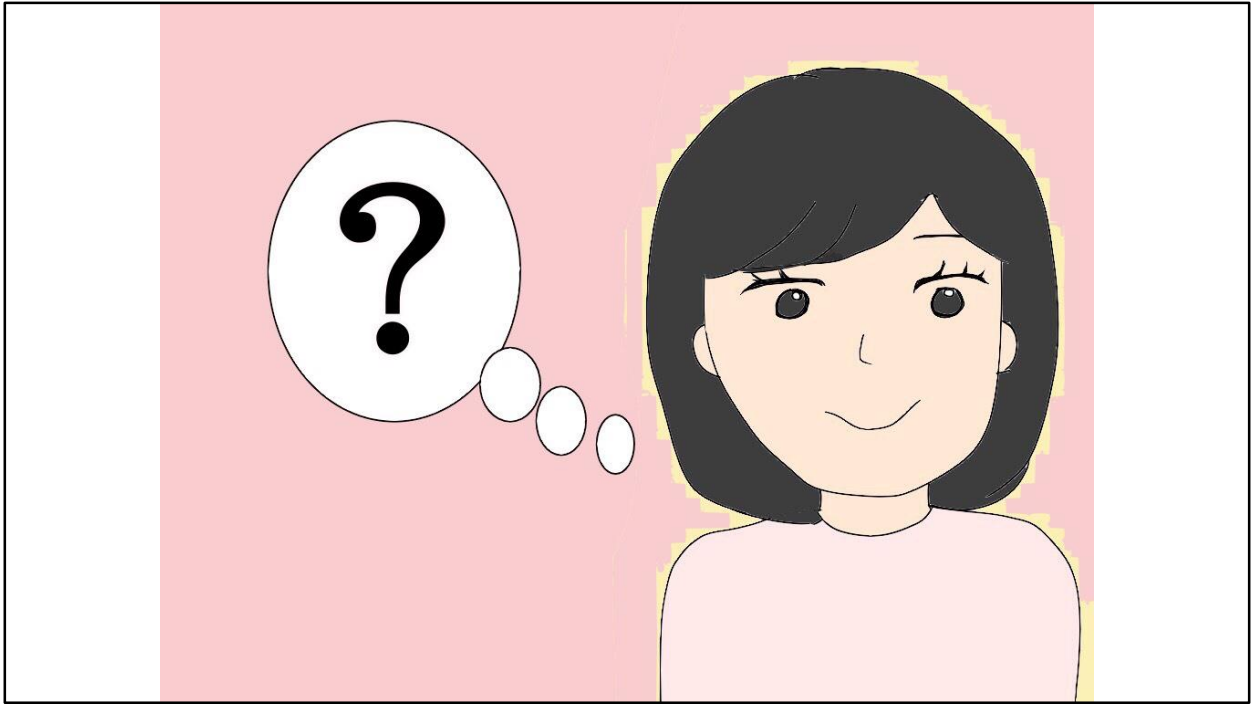
「炊き出しをしたおにぎりを配りま〜す。取りに来てください。」

【ナレーション】

女性の方々が、打ち合わせどおりに炊き出しをして、おにぎりを区民に配ります。

【男性A】

「焦げた部分がうまいんだ。うまいうまい。」



【女性A】

「炊き出しは今年も問題なくできたよかったな。でも、準備はこれだけで大丈夫かなあ・・・」



【女性A】

「被災地の様子をテレビで見たけど、避難所生活はとても大変そう。プライバシーがなかったり、物資が足りなかったり色々な問題があるみたい。」

【ナレーション】

女性は、避難所生活での問題点について調べてみることにしました。調べてみると、避難所生活では女性特有の問題が沢山あることがわかりました。



【ナレーション】後日、女性Aは近所の女性達とお茶する機会があったので、避難所生活の問題について投げかけました。

【女性A】

「この前調べてみたんだけど、避難所では女性にとって沢山の問題があるんだって。着替えや授乳をする場所がなかったり、性暴力の被害に遭うこともあるみたい……」

【女性B】

「え～。それはすごく怖いわね。どうすれば、いいのかしら。」

【女性A】

「う～ん。避難所に女性の意見を取り入れられればなあ。避難所の運営はどうしても男性中心になってしまって、女性特有の問題には気づきにくいみたい。」

【女性C】

「でも、いきなり男性の中に割って入って意見を言いにくいよねえ。」

【女性A】

「市役所に相談してみよう。何か解決策があるかもしれない。」



【ナレーション】

女性達は、市役所の防災課に相談に行きました。そこで、「防災リーダー」という存在を知りました。

【防災リーダー】

- ・防災に関して必要な知識と技術を身につけ、地域で主体的に防災活動に取り組む人のこと。
- ・市の実施する「防災リーダー養成講習」の受講が必要。

【ナレーション】

「防災リーダー」とは、防災に関して必要な知識と技術を身に付け、地域で主体的に防災活動に取り組む人のことです。

女性達は、自分たち女性が「防災リーダー」になれば、地域の防災活動に【女性の視点】を取り入れることができると考え、「防災リーダー」を目指すことにしました。



【ナレーション】舞台は変わり1年後・・・

公会堂で防災訓練に向けての打合せ会が行われています。そこには、「防災リーダー」になった女性たちの姿もあります。

【女性A】

「今回の防災訓練では、これまでの消火器の訓練ではなく、避難所運営について訓練したいと思います。女性が安心して着替えや授乳ができるようにプライベートスペースを設けましょう。」

【女性B】

「トイレには、安全面を考慮して鍵と照明を付けましょう。また、生理用品用のゴミ箱も設置したいですね。」

【女性C】

「授乳用品や整理用品などの備蓄も必要ですね。必要な用品のチェックシートを作成してみます。」

【自治会長】

「う～ん。我々男性だけでは気づかないことが沢山あるなあ。やっぱり女性の視点は大事だね。」

【ナレーション】

こうして女性の「防災リーダー」が生まれることで、女性をはじめ、高齢者や子どもなど色々な立場の方の意見が反映されやすくなり、誰もが安心して暮らせるまちになりましたとさ。

提案

【ナレーション】この紙芝居を通して、避難所での生活には女性特有の問題が存在すること、その防止・解決には「女性の視点」が必要であることがお分かりいただけたのではないのでしょうか。

よって、私たちハーモニープラン推進会議では市に対して、次の提案をします。

【女性の防災リーダーの育成強化】

防災リーダー講習修了者 延べ249名
(女性は4名) ※H30年10月時点

それは、「女性の防災リーダーの育成強化」です。

現在、南アルプス市において防災リーダー講習の修了者は250名ほどいるようですが、その内女性は4名しかいないとのこと。 (H30年10月時点)

まだまだ防災という活動は、男性が中心であることがわかります。

紙芝居のように現実には簡単ではありませんが、女性の「防災リーダー」が増えることで、地域に「女性の視点」が取り入れられ、誰もが安心して暮らせるまちに近づくと思います。

私たち、ハーモニープラン推進会議地域社会部会はこれまでの活動から「女性の視点」の重要性を学び、実感してきました。

ぜひ、市はこの提案をしっかりと受け止め、女性の防災リーダーの育成強化に取り組んでほしいと思います。